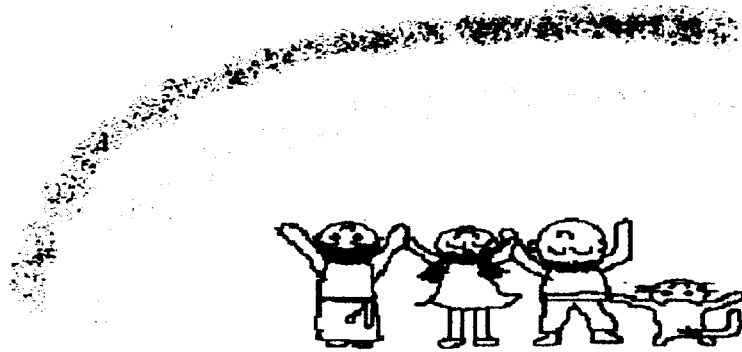


シャロンの花だより

東教区女性会会報

主題 「虹の架け橋」

～世界に、アジアに、隣人に、主の愛を～



便り

あべ
ふみこ

苦しみを超え
つらさをこらえ

達観したのだろうか

望みを見つけたのだろうか

淡々と書かれている便り

病院で会った時も

何事もなく話していた

ずっと気にかかっていたけれど

だれでも

胸に抱えているものの

ひとつ ふたつ

夏がすぎ

夜ごと コオロギが鳴く

リーリーと夜空を支配し

家の中にも鳴き声があふれる

今 自宅療養中とのこと

夜空に祈る

第21期主題聖句

目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。
何事も愛をもって行いなさい。 コリントの信徒への手紙一 16章13節～14節

第80号 (21期 第3号)

2011年6月20日

発行人：日本福音ルーテル教会女性連盟 東教区女性会

発行者：安藤淑子 編集：松比良節子

卷頭言

「虹を見上げて」

大柴譲治



○プロフィール：1957年名古屋に誕生。静岡、岡山、藤枝、金沢、三鷹、Langley/Canada、熊本での生活を経て、1986年にJELC教職接手。福山教会（9年）、米国フィラデルフィアルーテル神学校（2年）を経て、1997年9月より武蔵野教会を牧会（15年目）。現在東教区長最終年。専門は牧会学 Poimenics と臨床牧会教育（Clinical Pastoral Education）、恥 Shame 研究。

「すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。」（創世記 9:13）

武蔵野教会の礼拝堂はノアの方舟をかたどって造られています（1958年、設計者は教会員・故河野通祐兄）。1959年以降、礼拝堂の正面には米国から寄贈された羊飼いのステンドグラスが置かれています（詩編 23 編）。礼拝時には外からの陽光を受けて虹色に輝きます。なかなか見事な色合いです。虹には七色ありますが、それを見るたびに私は「みんな違ってみんないい」という金子みすゞさんの詩を思い出すのです。人それぞれ持ち味や色合いが違います。自分自身の中にも様々な色があるのでしょうか。絵の具を全部混ぜると灰色になってしまいますが、虹の美しさは様々な色が異なったまま束ね合わされているところにあります。教会もこの世界も、皆がそれぞれの色で輝ける場であって欲しいと願っています。

武蔵野教会の外壁にはノアの方舟をモチーフとした石のレリーフが飾られています。つがいの動物たちが空を見上げているのです。山本常一という作家の作品ですが、教会という場所、そしてこの世界という場が虹を見上げる場所であることをよく表していると思います。この世界がどれほど辛く悲しく感じられたとしても、神さまが虹を備えてくださる世界なのだと聖書は告げているのです。

虹を見つけた時私たちはハッと息を飲んで立ち止まります。それは日常生活の上に架かる非日常的な光景でもある。そしてそこから不思議な感動と慰めとが与えられます。私自身は見ることがないのですが、おそらくオーロラも同じ思いをそれを観る者に与えてくれるのでしょうか。洪水の後に、涙の後に、私たちは虹を見上げることによって再び力を得て立ち上がってゆくことができる。その意味で「虹」は私たちの希望を表しています。特に3.11の東日本大震災以降、その酷さに私たちは心がつぶされるような思いをしてまいりましたが、もう一度空を見上げたいと思います。ご一緒に天に虹を見つけないのです。そして前を向いて歩いてゆきたいのです。

教区女性会は20期から「虹の架け橋～世界に、アジアに、主の愛を」という主題を継承していると伺いました。主題聖句は1コリント 16:13-14。そこには「目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく生きなさい。何事も愛をもって行いなさい」とあります。このパウロの勧めは私には「天に虹を見上げなさい」という呼びかけの声であるように響きます。中島みゆきに『地上の星』という歌がありましたが、「地上に虹を見出しなさい」という声のようにも聞こえます。真実の愛はこの地上においても虹色に輝いているはずだからです。そう思うとき、主の十字架の苦難の中に私たちは真の虹を見出すことができるのかも知れません。主の十字架こそ天と地の虹の架け橋だったからです。お一人おひとりの日々の歩みの上に神さまの豊かな祝福が備えられますようお祈りしています。シャローム！

「虹を見て、その創り主をほめたたえよ。その輝く様はひとときわ美しい。それは天に栄光の弧を描く。これはいと高き方の手が引き絞ったもの。」（シラ書 43:11-12）

「母子生活支援施設の活動について」

社会福祉法人千葉ベタニヤホーム

国府台(こうのだい)母子ホーム 施設長 川 口 学

児童福祉法に定められた母子生活支援施設は全国に約260施設あります。約 4,000世帯の母子が施設を利用しています。今日、最も多い施設利用の理由は「DV被害」です。夫、内縁夫からDV被害を受けた女性達、父から虐待を受けた子ども達が、住み慣れた地元を離れて、母子生活支援施設で生活されています。中には母親からも虐待を受けている子どもがいます。居場所がない方々を受け止めていくのが母子生活支援施設です。

「公園のトイレで娘とひと晩過ごしました。」というDV被害を受けた母と子が施設に入所しました。「生活の場所、就労先、子どもの保育先等はあるとしても、それらにより生活をしていくことができない状況にある母と子」が施設を利用します。何も頼るあてがない方々です。「親族や知人等はいても、実際は相談したり援助を受けたりすることは困難な、心情や状況にある母と子」が施設を利用します。誰にも頼ることができない方々です。ご自分の家から母子手帳や財布さえ持ち出せず、まさに「着の身着のまま」で利用開始をする母と子が多いものです。

このような方々、家族毎に個別の居室を提供します。「私たちは、あなたとお子さんを害する者では決してありません。あなたとお子さんのことを根掘り葉掘り尋ねることもいたしません。でも何かの時にはどんな相談にも応じます。」というメッセージをお伝えします。また、スタッフが心掛けていることは次の3つです。一つめは「当たり前な生活」を送っていただくことです。二つめは「自分を人に委ねる生活」を送っていただくことです。「独りではないんだ。」と感じていただきたいのです。三つめは「自分で決めていく生活」を送っていただくことです。

国府台母子ホームの施設利用期間については、平均約2年です。最初の半年から1年で、DV被害等の法的問題はほとんどの場合が解決します。しかし解決してすぐ退所ではなく、生活の基盤を作り、子どもの育ちの節目、例えば保育園を卒園してから等、節目を考えて、良い時期に退所していきます。一人ひとりがその人らしく生きていくことができるために、母子生活支援施設の利用が望まれる方が周りにいたら、ぜひ施設とその方の仲介者となっていただきたいと思います。



第5回会長会と千葉ベタニヤホーム見学

大森教会 根本明子

キラキラ光る川面に目を細めながら歩いて行くと、遠くからでもわかる白い教会、それが今回の会場である市川教会です。中に入ると天井の高い落ち着いた雰囲気にも包まれた教会です。防空壕の上に建てられた建物なので地下室があり、床板の一部を持ち上げると地下へ下りる階段があります。とても懐かしい感じの雰囲気がしました。

女性会を終え、希望者で千葉ベタニヤホームを見学いたしました。里見公園の前にあり、桜が満開でした。国府台には保育園と母子ホームがあります。保育園は中島先生に御案内をお願いし、見学をさせていただきました。とても、機能的で、尚且つ、ゆったり感のある建物でした。屋上には畑があり、野菜を植えるとのことで、子供たちの歓声が聞こえてくるようです。母子ホームは、玄関のホールだったであろう場所まで部屋が作られ、時代とともにその必要性の高まりを感じさせられました。案内は、会長会で講師を務められた川口先生です。皆さん真剣にお話を伺いました。大勢のお客に入所の子供たちがはしゃいでいたのが心に残りました。それぞれが、その都度質問をし、教えていただき、考えさせられました。いろいろな思いで、各自が帰途につきました。

会長通信

第21期東教区女性会 会長 安藤淑子

この春の会長会は4月16日(土)に市川教会で63名の参加者を得て開かれました。川べりに建つ、国の登録有形文化財に指定されている鐘楼付の市川教会は、対岸の見事な満開の桜と共に、出席者を歓迎してくれました。グランドピアノの伴奏で、開会礼拝を始めましたが、中島康文牧師の奨励中に震度4の地震がありました。東日本大震災の余震でした。中島牧師は「3月11日の地震はもっと揺れが大きかったので、この位では大丈夫」と言い、私たちを落ち着かせてくださいました。当日の礼拝献金の89,200円と4教会からの献金19,930円、合計で109,130円は市川教会礼拝堂大改修のためにお捧げしました。とても趣のある礼拝堂は、1955年に建築家としても有名なウィリアム・メレル・ヴォーリスが設計しましたが、老朽化が進みました。市川教会の皆様が一日も早く改修が終わり、地震にも耐えられる礼拝堂で安心して礼拝が出来ますように。

この会長会では国府台母子ホーム施設長の川口学先生から「母子生活支援施設の活動について」お話いただきました。昨年秋の、蒲田教会の会長会では「家庭内暴力」の講演会で、さまざまな形で暴力を受けた母子が、一時避難所のシェルターでの生活を経て母子ホームに移っていくこと学びました。川口先生は豊富な経験を通して沢山の事例を挙げてお話くださいましたが、国府台母子ホームでは「母子の平均滞在期間は2年」と伺って、家庭内暴力の問題の大きさ・根深さを知りました。千葉ベタニヤホームには東教区女性会が、長年ささやかではありますが、献金をお送りしていることもあり、訪問でき本当に嬉しい会長会の午後になりました。



新築になった国府台保育園前で

東日本大震災応援に連盟が雑巾プロジェクトを担当し、東教区女性会でも多くの女性会が雑巾を送りました。私はイースターの翌日4月24日から30日の6日間仙台教会に行き、キッチンスタッフとしてボランティアへの食事を担当してきました。仙台教会には、ルーテル教会4教団からなる「ルーテル教会救援」活動の一つの「ルーテルとなりびと」が設置されたのですが、この「ルーテルとなりびと」にボランティアが宿泊し、仙台近郊での活動に出かけていくのです。私が宿泊した時には礼拝堂に畳を敷き、長椅子の座布団を敷き布団にし、寝袋で寝ました。滞在途中で簡易敷き布団が届き、体が随分楽になりました。

朝6時には石巻に出かけるボランティアに「朝1つ、昼2つの合計3つの超大型おにぎりとおかず」を袋に入れて渡します。夜は8時半に全員で夕食をとり、9時にミーティング、10時就寝。10時から私は台所の片付けと翌朝の食事の準備。昼間は掃除と買い物と片付け。毎日5時間ほどの睡眠でした。一度、気仙沼に行くボランティアに同行しました。鉄骨だけになった三階建てのビルの屋上に車が一台、そのビルの少し先の高台の施設前には桜並木が満開の花をつけているのを見た時には、涙が私の許可もなしにジワッと出てきたのでした。仙台教会の女性会は現在休会中ですが、教会前の「ルーテルとなりびと」の看板を見て、食品を届けてくださる近所の方も出始めたそうなので、教員が増え、ひいては女性が増えて、また女性会活動を始められるようにと祈っています。

この秋には10月29日(土)に会長会がありますので、今からカレンダーに書き入れてくださいますように。

続・虹の向こう側から

サンパウロ教会・徳弘由美子

教会自給、後継者、バトンタッチを祈る「下宿屋のおかみさん」…

お元気でお過ごしですか？ 3月の震災と原発事故、心を痛め、祈っています。教会でボランティア奉仕も進めておられるとのこと、ご苦労様です。私たちが京都で阪神淡路大震災を経験し、京都教会がボランティア本部になり、毎晩遅くまで会議をしたり、炊き出しの準備をしたりした事を思い出します。遠くから何もできませんが、サンパウロ教会でも特別礼拝をして献金を集めたり、連帯献金に送るためにバザーをしたりしました。



そんな中、4月末に渡伯二年目を迎えました。が、めまぐるしい日々でした。引っ越しをし、改修工事を続け、4月から下宿屋を始め、12人の若者が教会の寮に住んでいます。主人とお茶を飲みながら「今日あの子がこうだった」とか話が弾んで、私たちには子供がいませんが、いろんな国籍のいろんな言葉を話す子供たちがいっぺんにできた感じで「下宿屋のおかみさん」も楽しんでます。下宿業は、新しい教会が与えられてから、日本から支援を受けないで教会が自立するために収益活動をする役員会が決めて、皆で一生懸命取り組んでいることなのです。バザーも皆で手伝ってくれ大

助かり。「どこからこんなに沢山若者を集めたの？」と近所の教会のご婦人が驚いておられました。ポルトガル語礼拝も非日系も含めてもっと若い子たち10名ほども定着して、楽しく手伝ってくれています。15-18才の子どもたちですが、主人が牧師になりたてのころからTeensキャンプのお手伝いを一緒にして、私もずいぶん恵まれたのを思い出します。

私たちの教会も、日系人の方や駐在員の方が少し増えて、またポルトガル語を話す次世代の子供たちが増え始めているのが希望です。私も、ポルトガル語を継続して習いながら、(あまり上達しませんが)彼らとも仲良くしています。この教会が更に祝福されて、自給でき、次の世代にバトンタッチできるように、引き続きお祈りください。

TNG (The Next Generation) の備きについて

津田沼教会 小澤 恵子

3月の「春キャン」が東日本大震災直後という事で中止になりました。会計として参加する予定だった私は会計の後整理中です。「子どもキャンプ」と「春キャン」、皆さん二つのキャンプの違いはわかりますか？「子どもキャンプ」は小学5・6年生が対象で、「春キャン」はティーンズ、すなわち中学生以上の10代の子どもが対象です。どちらもルーテル教会のTNG(次世代育成)の大きなプログラムです。そもそもTNGには「幼児」「子ども」「ティーンズ」「ユース(青年)」の4つの部門があります。「幼児」は「こひつじ便り」を年4回発行し「子どもたちがのびのびと元気に過ごせますように、大人たちが楽しんで子育てが出来ますように」と祈りつつ応援。

「子どもキャンプ」は広島教会で平和の尊さを学ぶキャンプと、ルーテル学院大学(今夏は東海教区の拳母教会)で発展途上国・地域を学ぶキャンプを交互に行っています。

幻になった今年の「春キャン」は奈良の国立青少年の家で「いのちってだれのもの？」という主題で行う予定でした。「ユース」は青年会。ぜひ知り合いの子どもたちを各キャンプに送ってください。8月9日～11日「カンボジアからソックサバーイ！～あなたの夢は？～」5・6年生集まれ！！

女性会連盟からの報告

雑巾 12,000 枚が集まりました。

連盟担当 阿部富美子

3月11日の東日本を襲った大震災、未曾有の被害を受け、15,000を越える天に召された方々に、避難所暮らしの方々、毎日テレビや新聞で映される、被惨な状況の中、ご存じのように、仙台教会でルーテルの支援者センターが、開設されています。女性会として、何かお手伝いできることはないだろうか。

まず、義援金として30万円を送金いたしました。緊急かつ必要なことでしたので、果実献金から支出させて頂きました。被災地で、ボランティアとしてお働きになっていらっしゃる兄弟、姉妹に感謝しています。なかなか行けそうで、行けないのが女性ですよね。できることをひとつひとつお手伝いできたらとの思いでいます。

- ① 雑巾を送るプロジェクト
- ② 石巻の漁師さんが作られた海藻を食べようプロジェクト
- ③ 応援メッセージプロジェクト

支援は長いプロジェクトになります。どうぞ、共に祈りつつ、応援をしてください。お願いいたします。

21期女性会連盟も3年目にはいりました。来年の総・大会に向けて6月22日～24日に神戸の舞子で、西教区の実行委員会の方と話し合いを持ちます。充実したより良い総・大会となりますように役員一同、努力していきたいと思ひます。主の導きを祈ります。



7ページの続き

現金	82,515	次年度繰越金	845,663
通常郵便貯金	1,216,922	積立会計残金	453,774
合計	1,299,437	合計	1,299,437

定額預金 19期より 用いたまえ愛の主よ基金 500,000

支援献金送金先	
ほしくずの会	20,000
こどもの家	20,000
東京老人ホーム	20,000
ベタニヤホーム	20,000
千葉ベタニヤホーム	20,000
喜望の家	20,000
ウエスト神奈川	20,000
ブラジル伝道	42,350
カウンセリング研究所	10,000
いつくしみ	10,000
ウエスト神奈川	57,845
合計	260,195

注3

注4

連盟へ送金	
連盟会費	1,352,000
会報購読	89,000
連盟指定献金(17教会)	99,300
感謝献金	156,750
サバ神学生	261,300
リーストコイン	95,167
合計	2,053,517

- 注1 2012年会場神戸舞子ヴィラ
- 注2 2012年会場東京教会
- 注3 2010年3月22日の東教区総会でのコーヒーショップ純益全額を送金
- 注4 2010年10月23日の会長会での礼拝献金全額を送金

皆様のお祈りのうちに、2010年度東教区女性会会計が守られたことを、深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

本報告は2011年3月24日に綱春子姉の監査を受け承認されました。

東教区女性会

第21期 会計報告2009年度及び2010年度予算・決算と2011年度予算

21期会計 中島美津江

単位円

	費目	09予算	09決算	10予算	10決算	11予算	摘要
収入	東教区会費	685,200	658,800	626,400	624,000	606,000	会員数2009年549名、 2010年520名、2011年505名
	教区便り購読費	0	14,400	16,100	17,100	19,400	
	教区活動支援献金	123,000	149,890	130,000	233,955	200,000	20教会から86,100・6教会と4個人 から 40,010、席上献金 57,845と 50,000
	感謝献金	35,000	29,300	30,000	39,200	30,000	物品販売等からの献金
	コーヒーショップ	15,000	2,681	42,350	166,188	127,000	全国総会、教区総会、宣教フォー ラム、激論で飲み物等販売
	雑収入	5,000	1,567	10,000	57,080	5,000	茶菓子代20,200、15,200、5,500等
	前年度繰越金	529,636	529,636	638,929	638,929	845,663	
	合計	1,392,836	1,386,274	1,493,779	1,776,452	1,833,063	
支出	教区便り	100,000	21,400	30,000	49,865	50,000	シャロンの花だより1回、 ほっとニュース2回発行
	会議費	51,000	41,500	90,000	78,330	90,000	謝礼(講師、ピアニスト、説教者)、 会場費、茶菓子代、タクシー代
	交通費	60,000	97,980	130,000	174,440	170,000	定例役員会9、会長会2、講演会、 東京老人ホーム
	教区交流費	165,000	83,440	120,000	77,500	120,000	甲信、小田原、湯河原ほか
	地区活動費	50,000	60,000	60,000	41,000	60,000	甲信、東京老人ホーム訪問
	次世代育成支援金	80,000	75,990	80,000	72,100	80,000	TNG60,000、神学生へ手帳
	通信事務費	64,200	52,035	70,000	36,953	50,000	事務費
	慶弔費	10,000	5,000	10,000	0	10,000	
	備品費	2,000	0	2,000	0	2,000	
	支援献金	150,000	140,000	120,000	260,195	207,000	支援献金送金先は左頁内訳を 参照
	連盟大会・総会積立金	100,000	100,000	70,000	70,000	56,200	注1 連盟大会・総会予算を 30万円とするため
	東教区総会積立金	70,000	70,000	30,000	30,000	30,026	注2 教区総会予算を24万円と するため
	コーヒーショップ			42,350	12,251	20,000	ブラジルへの献金は支援金 から支出
	雑費	6,000	0	5,000	28,155	5,000	本の送料、講師、甲信へ土産
次年度繰越金	484,636	638,929	634,429	845,663	882,837		
合計	1,392,836	1,386,274	1,493,779	1,776,452	1,833,063		

総会積立会計	前年度繰越金	2010積立金	2011年積立予算	合計	
連盟大会・総会	173,800	70,000	56,200	300,000	注1
東教区総会	179,974	30,000	30,026	240,000	注2
	353,774	100,000	86,226	540,000	

ゆくえ あべ ふみこ

かつて

原発はいらない

原発分の電気代は払わないと

行動をした人がいた

当然 電気は止められた

画家であつたその人は

美術館を持っていた

川のほとりの緑あふれる地

夏になると

暗く冷房の利かない館内

汗を流しながら見た

「原爆の図」

恐ろしい地獄絵だ

目をそらしてはいけない

今 原発によって

発展した産業国 日本

大地震が起こり

原発が故障した

日々 危険な原発の状況を

マスコミが伝える

画家は

今 天国で何を

思っているだろうか

彼の危惧した今の日本

彼の伝えてきた原爆の図

甲信地区「女性の集い」

飯田教会 熊谷祥子

2011年度「女性の集い」は、7月9日(土)10時30分～3時 松本地区センター(松本教会)において、開催します。テーマ「キリスト者としての旅立ちの準備」長野教会担当です。

会費 昼食代込み1000円。甲信地区以外のみなさまの参加を、歓迎いたします。

教区女性会の最近の活動および予定

- ・ 4月16日(土) 10:30～14:00 会長会 於:日本福音ルーテル市川教会 63名参加
14:30～15:30 千葉ベタニヤホーム保育園・母子ホームの見学
案内は中島康文先生と国府台母子ホーム施設長の川口学先生
- ・ 5月21日(土) 10:30～12:30 東教区女性会役員会 於:ルーテル市ヶ谷センター会議室
東日本大震災の被災地へのボランティア支援センターが仙台教会にあり、今も男女を問わず、ボランティアの募集が行われています。安藤会長も参加しました。
- ・ 6月16日(木) 10:30～13:00 女性会役員会「シャロンの花だより」最終編集会議ほか
- ・ 6月18日(土) 9:00より東京池袋教会にて「シャロンの花だより」印刷・発送
- ・ 7月2日(土) 10:00～16:00 東教区宣教フォーラム 於:池袋教会 コーヒーショップ奉仕も
- ・ 7月6日(水) 9:30～10:45 蒲田ルーテル幼稚園で「ウエスト神奈川女性の人権を守る会」の柳堀恭子姉・藤井礼子姉の「家庭内暴力」についての講演会があり、女性会会員の参加も歓迎です。
- ・ 10月28日(金) 10:30～15:00 ACWC一日研修会 於:日本基督教団富士見町教会
- ・ 10月29日(土) 会長会 於:田園調布教会。詳細は9月にお知らせ。
- ・ 11月16日(水) 午後 東京老人ホーム訪問

《編集後記》2011年度は1月22日の役員会から始まり、4月16日の会長会を八重桜と新緑のころ市川教会で開催しました。その間3・11の東日本大震災が起こり、翌日予定の役員会もキャンセルされ、当日都内で帰宅難民となった者もありました。安藤会長の仙台「ルーテルとなりびと」での奉仕の活動報告はいかがでしたか。また、今年も教区総会、宣教フォーラム等で女性会コーヒーショップを開く活動をしております。各教会女性会のご協力を、お願いいたします。秋の東京老人ホーム訪問日時も決まり、その前に会長会が開かれます。いま準備途上にあります。8ページの「みんなの作品」欄は、今回は阿部富美子役員作品を、スペースの節約をしながらお届けしました。10月会長会後の「ほっとニュース」にみなさまの作品をお寄せ下さいませ。来年2月まで、ご意見など、いろんな形でよろしくお願いいたします。S.M.